

がん対策推進都道府県計画策定の調査結果（調査 2007 年 11 月~12 月）

- 【 1 】 回答数 14 回答（13 自治体）：岩手県、茨城県、新潟県、東京都（2 回答）、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県、滋賀県、福井県、大阪府、広島県、高知県
- 【 2 】 まとめ方：記入のあった回答を並べて記載している。自治体名は記載しない。ただし回答の中で書かれた県名や患者会名などはそのままにした。

質 問	がん対策推進都道府県計画策定の状況
<p>協議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発足月日・構成人数 ・ 患者家族遺族代表は入っているか、何人か ・ 構成について特徴（医療・介護の現場の専門職の方がいるか？など） ・ 開催日時（現在までと今後の予定） 	<p>神奈川県は特別に協議会などを作る予定は無いとの事。神奈川県がん対策基本計画に盛り込まれている各種委員会を活用して意見を吸い上げる予定でいる。11 月 14 日には県内患者会五団体をお呼びして「がん対策懇話会」を開催して患者、患者家族の意見を聞く予定でいる。今後については 12 月に県民団体会議を召集、40 組位を呼んで意見を聴取したい。その場所に「がん患者団体支援機構」のメンバーを呼びます。との事。今日、保健福祉部健康増進課、がん・健康対策班の話です。</p> <p>・ 未定・患者家族遺族の代表は入れる予定（県の方に問い合わせ、回答を得た：9 月中旬）</p> <p>・ 2007 年 10 月発足・患者家族遺族代表 3 名参加 がん患者と家族の会「かたくりの会」 乳がん患者の会「アイリスの会」 市民団体「岩手にホスピス設置を願う会」・医療関係者の他、市町村や患者団体の代表者が構成メンバー</p> <p>第 1 回会議（開催済み） 10 月 29 日（月）計画骨子（叩き台）</p> <p>第 2 回会議 11 月 26 日（月）計画骨子（案）</p> <p>（12 月 8 日県主催がんフォーラム開催）</p> <p>第 3 回会議 12 月 17 日（月）計画素案</p> <p>（12 月下旬～1 月下旬 - パブリックコメント - ）</p> <p>第 4 回会議 2 月（今後調整）計画（案）</p> <p>3 月 計画策定</p> <p>平成 19 年 10 月 26 日発足、構成人数・22 名。小児がん患者家族 1 名患者会 3 名構成。医療保険関係 2 団体（国民保険、健保）が参加。薬剤師会、歯科医師会、保健所所長も参加。僻地とされている地域から副町長も参加、一応すべてに気配りされている感あり。今回は初めて、次回 12 月、1 月、2 月、3 月を予定</p> <p>2007 年 7 月 2 日・（患者代表）入っている、2 人・（構成について）医療者が多いが看護協会・薬剤師会・健康福祉部等が参加している・現在迄に 2 回。7 月・9 月・次回は 11 月 26 日</p> <p>・ 5 月 28 日・（委員）22 名、患者 3 名、座長 1 名、学識経験者 7 名、関係団体 3 名、患者団体 3 名、関係行政機関職員 3 名、都 5 名・（開催日）5 月 28 日、6 月 29 日、7 月 27 日、9 月 10 日、11 月 5 日、第 6 回未定（2 月はじめ予定）</p> <p>07.5.28、第 1 回・（委員）22 名・患者代表 3 人、学識経験者 = 8 人、関係団体 3 人（医師会、看護協会、薬剤師会）、行政 3 人（保健所、区部、多摩地区）、東京都 5 人（関連担当部長）・4 回 開催していると思う（2、3 回は傍聴した）・今後は不明</p> <p>広島県がん対策推進協議会発足日：2006 年 10 月 17 日 ・構成人数：17 名 ・患者・家族等：2 名 ・特徴：拠点病院院長 1 名・県医師会 1 名・学識経験者 3 名・緩和ケア代表 1 名・県看護協会代表 1 名・日本対がん協会会長 1 名・薬剤師会 1 名・保健所の代表 1 名・県福祉保険部長 1 名・歯科医師会代表 1 名・呉市福祉保険部長 1 名・被爆者援護事業団（がん登録）1 名・県がん診療連携協議会議長 1 名 ・開催日程：2007 年 6 月 18 日（平成 19 年度広島県がん対策推進協議会第 1 回計画策定会議）、8 月 1 日（がん患者団体等からのヒアリング）、10 月 25 日（第 2 回 計画策定会議）</p> <p>がん情報提供部会発足：2007 年 8 月 1 日 ・構成人数：12 名 ・患者・家族等：2 名 特徴：拠点病院 1 名・学識経験者 3 名・県医師会 1 名・県福祉保険部 1 名・福山市福祉保険部 1 名・地域医療連携室 1 名・新聞社論説委員 1 名・県がん診療連携協議会議長 1 名 ・開催日程：2007 年 8 月 1 日（第 1 回 がん患者団体等からのヒアリング）、9 月 12 日（第 2 回 患者情報部会）、11 月 15 日（第 3 回がん対策推進協議会 予定）</p> <p>平成 19 年 8 月 4 日 ・（患者代表）3 名 ・構成：拠点病院がんセンター長各 2 名、医師会会長 1 名、患者家族遺族 3 名、緩和ケア 1 名、在宅ケア 1 名、「一喜会」顧問医 1 名、行政他全員 15 名 ・平成 19 年 8 月 4 日、平成 19 年 10 月 15 日</p>

	<p>2007年8月10日発足 構成人数:23名 内訳 医療関係者:20名(内介護関係2)、患者家族遺族代表:2名、マスコミ関係:1名 開催日時:第1回目 8月10日・第2回目 10月5日・第3回目予定 12月27日</p> <p>・発足年月日、構成人数 H19年10月19日(第1回目の開催日)委員数13名、7月の中越沖地震のため、当初より開催が遅くなった。・患者代表1名・医療・介護専門職</p> <p>・開催日時 第1回 平成19年10月19日(月)16:00~18:00 第2回 11月27日(火)16:00~18:00 第3回 平成20年2月上旬開催予定</p> <p>発足日:8月28日・13名・患者代表2名・残る11名はほぼ関連医療に携わっている人で、医師や技師など各分野の代表で構成されている。・開催日:8月28日、10月17日、12月20日(予定)</p> <p>第5次保健医療計画策定のため、がん対策のワーキンググループを10名(責任者、飯田市立病院宮川医師)で構成・飯田市立病院患者会(特定疾患でなく、全病気の患者会=あじさい会=)代表1名、医師会、看護協会、信州大学病院・患者会</p> <p>・開催:2007年3月・6月・12月 2008年2月</p> <p>山梨県がん対策推進協議会発足日:2007年9月13日・構成人数:19名・患者・家族等:3名・特徴:拠点病院院長4名・県医師会1名・学識経験者4名・緩和ケア代表1名・県看護協会代表1名・日本対がん協会山梨県支部1名・検診機関1名・市代表1名・町代表1名・保健所の代表1名・開催日程:9月13日、10月17日、12月5日(予定)</p>
<p>協議会の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開か ・ 協議会開催と傍聴について ・ どのように知らせているか ・ 傍聴者が意見を述べることができるか ・ その他運営などについて 	<p>・公開・マスコミ(新聞、テレビ局)には事前連絡し、マスコミ席も用意。・患者などの傍聴は可能か県に問い合わせたところ、会場スペースが限られるので傍聴は不可とのこと。従って傍聴者が意見を述べることは不可能。</p> <p>・公開・協議会開催については関係者に書面にて知らせる。・傍聴についても同じ(傍聴者の意見)出来ない。・(運営などについて)初回なので明確な形が見えない。</p> <p>一応公開・一般公開の方法についてはわからないが患者会を通じて知らせている模様</p> <p>・(傍聴者意見)出来ない(運営などについて)協議会の他に医療部会も開かれているが傍聴者の発言の場はなく情報が限られる。</p> <p>公開・ホームページ(傍聴者意見)傍聴のみ、参考招致を求めたが拒否された</p> <p>公開されている・東京都のホームページ(傍聴者意見)意見は述べられない</p> <p>・(運営などについて)患者代表の意見も聴き、円滑に運営されていると思う</p> <p>・公開にて開催。傍聴者あり・傍聴者は傍聴のみ・お知らせは広島県のHPにて。患者会へはメール及び郵送にてお知らせあり。</p> <p>公開・新聞等(傍聴者発言)できない</p> <p>公開・県のHPで知らせている。・原則、傍聴者は意見を述べることはできない。</p> <p>・会議を公開している。・協議会開催の周知は、各地域振興局庁舎への掲示をしているほか、報道機関への情報提供により行なっております。・とくに規定は設けておりませんが、傍聴者の意見は聴取していません。</p> <p>・公開・新聞等で知らせる。(傍聴者意見)・会議の席では意見を述べることはできないが、別の方法で意見を伝達することはできる。</p> <p>公開・県のホームページ・ワーキンググループが協議会に相当</p> <p>・公開にて開催。傍聴者あり・協議会開催通知は各委員への連絡と報道機関への連絡。傍聴については委員からの情報提供により行われている。・傍聴者は傍聴のみ</p>
<p>パブリックコメントを求めているか?また求める予定があるか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回数? ・ どのように周知するのか? ・ どんな事項に関して求めているか? 	<p>(12月下旬~1月下旬-パブリックコメント-)回数未定。周知方法未定。事項も未定。</p> <p>・ 予定では来年1月実施予定</p> <p>まだ求めてはいないが求める予定と聞いている。</p> <p>パブリックコメントの予定あり。回数未定。周知方法確認していない。12月 都民からの意見募集</p> <p>記憶では求めていなかったように思う</p> <p>広島県下の患者会に対してヒアリングを行った。(平成19年8月1日)</p> <p>求めていないが求める予定はある。</p> <p>不明</p> <p>12月末から1月頃実施予定(開始時期は1月にずれ込む可能性あり)・新潟日報「県からのお知らせ」欄に掲載するほか、ホームページへの掲載、県地域振興局(行政情報センター)での掲示を予定。・計画素案について意見を募集する予定。</p> <p>・上記3回の協議会が終わったら、コメントを求める予定である。1回。・新聞紙上の「県政だより」および県情報センターでの閲覧による。・事項:全般</p> <p>有る・2008年2月開催のワーキンググループの予定を報道機関に流し(ホームページはもちろん)周知する。・(どんな事項)未定</p> <p>・がん対策推進計画案決定後、パブリックコメントを実施する。・おおむね一回・広報、新聞、インターネットを経由して行う・対象は全て</p>

先進的ながん対策を実施しているか？あれば、どのようなものですか？	特に先進的と感じるものはない。
	していない。・「さあはじめようがん対策」参照。国際標準のがんプランの策定プロセスにそったもの。国際標準モデル(米国標準CDCのキャンサー・プランネット)
	特に先進的ながん対策を実施しているとは思わない
	既に長年来がん登録を実施している。
	がんに関する相談を無料でお受けいたします。 秘密厳守 (相談内容の一例)○がんと診断されて不安・心配 ○がんやがん治療について知りたい ○がん治療のできる医療機関を知りたい ○がんの情報を知りたい ○体験者の話が聞きたい ・県民の方なら、どなたでもご利用できます。・患者さん同士やご家族同士で情報交換のできる「サロン」も併設しています。・第1回高知県がんフォーラム平成19年12月8日(土)・県民の視点に立ったがん対策を推進するため、がんの予防、治療、緩和ケア等のがんに関する情報を、県民に幅広く提供することを目的とします。
	・予防から医療までひととおりの対策は実施していますが、とくに先進的といえる対策は行なっておりません。
	福井県はがん予防日本一を目指しており、知事も積極的である。その一つとして、検診率のアップを目指し、出前検診を行っている。これはショッピングセンターなどに検診車を出向かせ、マンモによる乳がん検診を行うなどである。18回を予定しており、3回終了。また、商工会、JAなどと連携による各種がんの検診率のアップも計画している。さらに医療機関(県立病院)の検診センターなどの整備を実施中である。
・検討の段階だが、各拠点病院での内容を相互に把握し、現実的な連携ができるように組織する・優先順位を持って実現する課題を絞る・進化する計画として見直しを念頭に置く	
他都道府県での先進的ながん対策を参考にしているか？	他県の患者会活動・国立がんセンターではといった例が取り上げられることはある。
	参考していない
	よく分からない
	高知県独自で考え実行している
	東京都のピアカウンセリング講習会の実施
	・他都道府県の取り組みについては、アンケート調査により各都道府県の担当者間で情報を共有しており、今後、参考にしていきたいと考えています。
	各県の担当者会議があるので、各種情報をそこから得ている。
今後必要になれば ・参考にとどまるだろうが、富山県	
がん患者団体や市民が要望をだしているか？	・県内患者会6団体が検討中
	次回会議までに患者団体で集まって検討した上で、患者側より具体的な要望提案を提出する、と県に申し出済み。
	出していない。
	市民団体はわからないが患者団体からはかなりだされていると思う。
	ブーゲンビリアから4点意見を提出・東京都がん対策推進計画(イメージ)・東京発がん医療改革(東京都がん対策推進計画)・東京都がん対策推進計画における重要施策について・がん相談支援のニーズ及び実態調査
	よく出していると思う。当協議会加盟患者会(東京の会)も肝がんの予防対策について要請している
	広島県下の患者会に対してヒアリングを行った。(平成19年8月1日)
	どしどし出している。
	患者や家族の心のケアを重視した対策：患者交流サロンの設置とピアサポートの推進
	・貴団体が出された要望は受け取っておりますが、その他の要望は出されておられません。
	各種患者団体による集会在懇談会形式で行われており、県はここに出向いて意見、要望を聞いている。
	直接は、ワーキンググループの一員の飯田市立病院患者会代表が要望 ・協議会の中で意見を出している・一般の関心は薄い
議会・議員の関心は？	良く分かりません。どのようにして調べればよいのでしょうか
	ある。
	あまり聞いたことがない。
	第5回の会議で、先手必勝戦略を実施、効果大でした。
	患者団体へのヒアリングなどで要望を聴き、関心を持っている
	不明 議員の方との意見交換などを行っている。

	<p>ピアサポートに関しては東京都が既の実施しているということで、茨城も来年度には NPO 団体に委託して、実施という話も出ている。がん診察連携拠点病院(7 箇所)に相談支援センターを設置する方向。</p> <p>・平成 19 年 3 月に議員提案による新潟県がん対策推進条例が成立し、施行されました。 ・12 月議会においては、がん検診受信率など、がん対策についての質問が複数であるなど、条例制定前と比べ、議員の関心が高くなっていると感じています。</p> <p>議会で、現状および計画等の説明をしている。議員からも意見があり、これを反映させていきたい。</p> <p>2007 年 6 月「ガン制圧議員連盟」発足し 2 名除き全県議が加盟</p> <p>・勉強不足の感あり。意見が言えないのだと思う</p>
その他	<p>・がん診療連携拠点病院フォーラムが 11 月 15 日に開催される。県内から患者会 2 団体（あけぼの会滋賀・きらら会）もパネリストとして参加。滋賀県立成人病センター主催で開催。その後、患者会 6 団体で話し合いを持ち県に要望書を提出予定。なお、フォーラムについての詳細は、県立成人病センターのホームページにて。</p> <p>第 1 回目の会議で同会構成メンバーである医療者数名から「具体性もなく策定期間も限られており、何も決まらないのではないかと」県の会議の進め方や取り組み方に対して不満や懸念が多く述べられた。患者会・市民団体としては今のところ、他県先進事例を参考に「がん患者サロン」の設置を要望検討して行くという意見が出ている。</p> <p>初めての会議ということで、どのような内容で進行していくのか模索しているようでした。緩和ケア、がん医療の均てん化が地域格差を少なくする、医療者の実情、がん登録等の発言がありました。</p> <p>委員同士の連携はうすく・看護師会等の発言も少なく医療従事者主導の感はまめがれない。ただ大阪は患者会の連携はかなり密な感があります。</p> <p>○患者の視点の施策だけ示すのでは、不十分で、全体と患者の提案の二つを言うのが大事です。患者の利害だけ主張するのではよくないです。全体を憂慮してビジョンを示す事ができるのは患者委員だけです。患者の視点からしか、全体の問題が解きほぐせないで、患者の視点からの各論も大切にしたいですね。○全体論が大事です。他の委員は自分の利害の個別論に走る傾向がありますので。○患者の視点を大事に。すべての患者に到達するサービスを実施。患者・家族への情報提供を保証し、アクセスしようという考えがどこに表れているか、確認する事が大事です。格差を助長する事になってはいけませんので、がんばりましょう。○ビジョン、役割、方向がまちがってなく、私利私欲の動機がないのですから、自身を持って頑張りましょう。○妥協案になっても、強く発言する事で、妥協案のレベルが上がります。地域のがん患者のみなさんのために、勇気を持って協議会に望みましょう。</p> <p>平成 19 年 8 月 1 日 本田麻由美氏講演 ・平成 19 年 11 月 18 日(日)【広島県におけるがん情報サービス向上に向けた 地域懇話会の案内】</p> <p>75 歳以下の死亡率が全国一低い。即、ガン死亡率が低いことになる。保健医療計画(ワーキンググループ 50 人位)の策定がメドがたちつつあるので、ガン対策も来年早い時期にメドがたえられるのではなからうか。(県、担当者の意見)</p> <p>一般的に勉強不足と無関心が気になる。また、医療費抑制の施策に載りすぎだと思われる。予算配分を検討する視点も必要だと思う。</p>